

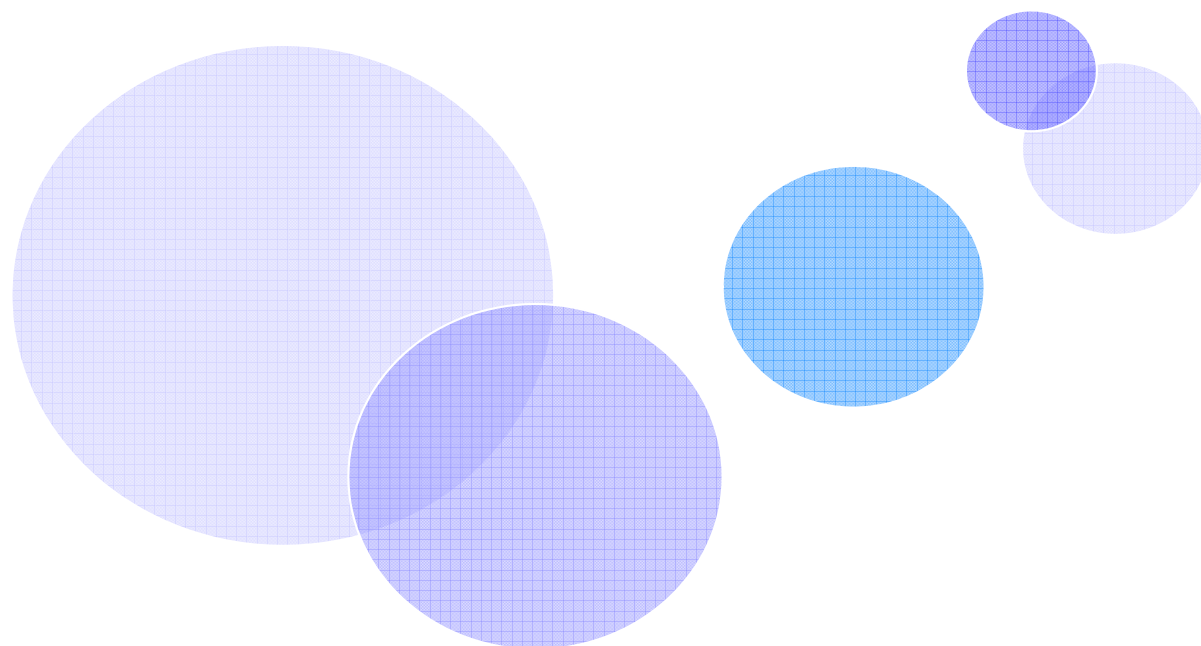


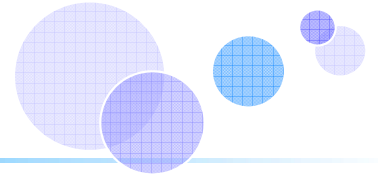
日本ヒューム株式会社

2022年3月期第2四半期 決算説明会資料

2021年11月16日

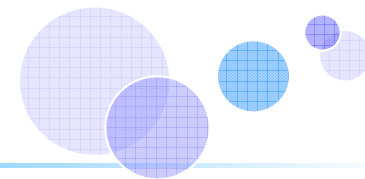
証券コード 5262
東証一部





1. 2022年3月期第2四半期業績
2. 2022年3月期業績予想
3. 中計「21-23計画」取組み状況

1. 2022年3月期第2四半期業績



① 2022年3月期第2四半期業績総括

連結業績短評

- 基礎事業については地域差のある需要環境となり一部地域で受注競争激化
- 下水道関連事業については高付加価値製品が堅調に推移

連結業績数値

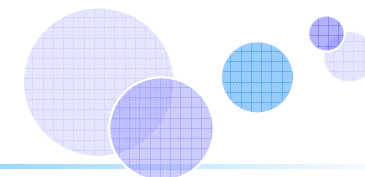
	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期(期初予想)		2022年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	期初予想比	
							増減額	増減率
売上高	15,045	100.0	15,000	100.0	14,130	100.0	△869	△5.8
営業利益	865	5.7	650	4.3	644	4.6	△5	△0.8
経常利益	1,517	10.1	1,400	9.3	1,397	9.9	△2	△0.2
四半期純利益(※)	1,149	7.6	1,100	7.3	1,137	8.0	37	3.4

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円、%)

1. 2022年3月期第2四半期業績

② セグメント別業績

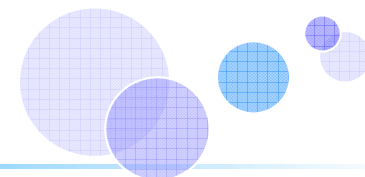


(単位：百万円、%)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高前期比		営業利益前期比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
基礎事業	9,500	583	8,922	136	△578	△6.1	△446	△76.6
下水道関連事業	4,812	591	4,458	826	△354	△7.4	235	39.8
太陽光発電・不動産事業	730	396	743	409	12	1.8	13	3.4
その他事業	24	18	27	21	3	12.7	3	21.1
調整額	△22	△723	△20	△750	1	△8.1	△26	3.6

1. 2022年3月期第2四半期業績

③ 連結貸借対照表

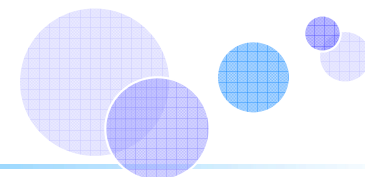


(単位：百万円)

	2021年 3月期 第2四半期	2021年 3月期 期末	2022年 3月期 第2四半期		2021年 3月期 第2四半期	2021年 3月期 期末	2022年 3月期 第2四半期
流動資産	23,931	24,366	24,472	流動負債	10,925	10,607	10,627
(現金及び預金)	11,118	12,328	11,359	(短期借入金)	937	928	970
(棚卸資産)	3,239	3,073	3,446	固定負債	3,528	3,790	3,738
固定資産	24,996	26,051	26,192	負債合計	14,454	14,397	14,365
(有形固定資産)	9,452	9,327	9,259	株主資本	33,242	34,227	34,631
(無形固定資産)	196	188	159	(自己株式)	△2,127	△2,163	△2,263
(投資その他の資産)	15,347	16,535	16,773	純資産合計	34,474	36,020	36,299
資産合計	48,928	50,418	50,665	負債・純資産合計	48,928	50,418	50,665

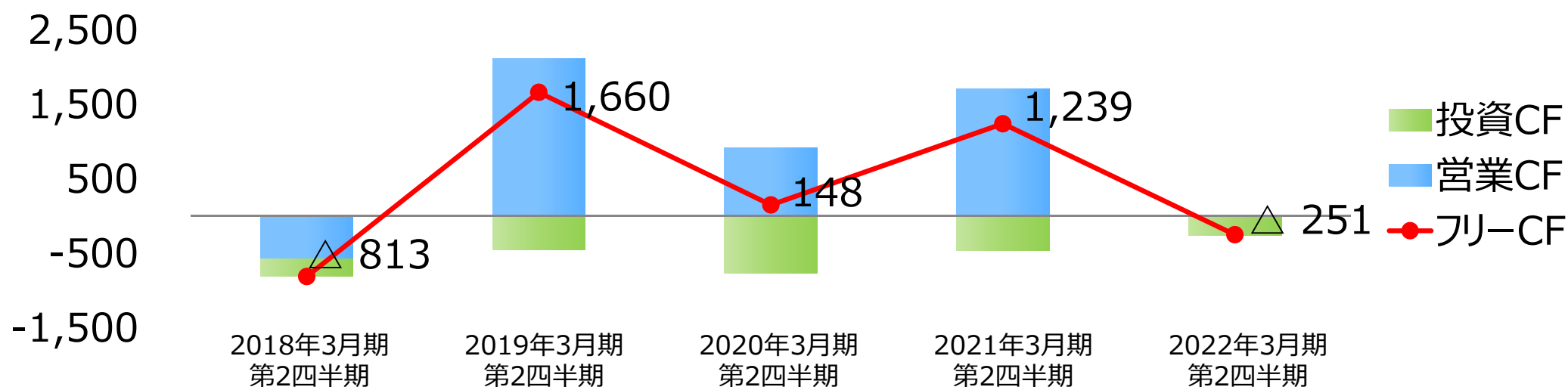
1. 2022年3月期第2四半期業績

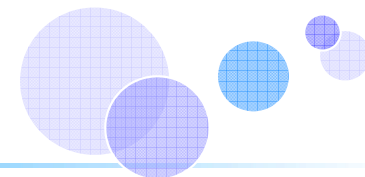
④ 連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

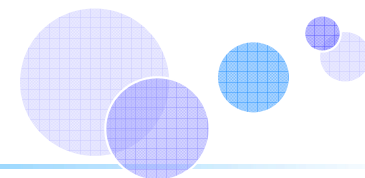
	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,706	12	△1,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467	△264	203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491	△724	△233
現金及び現金同等物の期末残高	11,076	11,316	239





1. 2022年3月期第2四半期業績
2. 2022年3月期業績予想
3. 中計「21-23計画」取組み状況

2. 2022年3月期業績予想



業績見通し

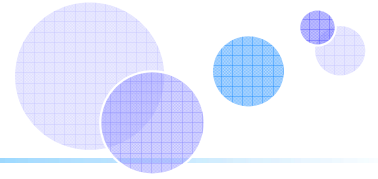
- 公共事業については堅調に推移するものの、民間投資は先行き不透明な状況が続くと予想
- 基礎事業は前年同水準の需要環境で推移し、引き続き厳しい受注競争が続く
- 下水道関連事業は引き続き浸水対策関連の高付加価値製品の受注を見込む

数値予想

	2021年3月期		2022年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	30,446	100.0	31,000	100.0	+553	+1.8
営業利益	1,730	5.7	1,750	5.6	+20	+1.2
経常利益	2,711	8.9	2,650	8.5	△61	△2.3
当期純利益(※)	2,129	7.0	2,000	6.5	△129	△6.1

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円、%)



1. 2022年3月期第2四半期業績
2. 2022年3月期業績予想
3. 中計「21-23計画」取組み状況

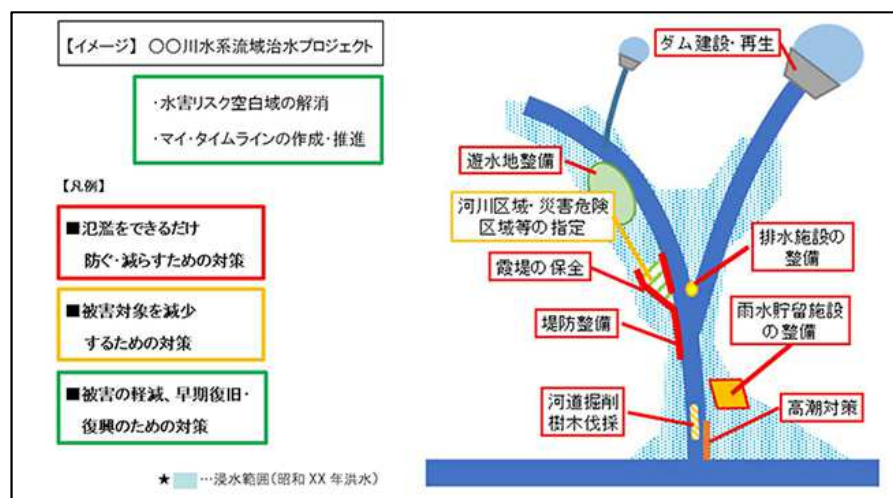
3. 中計「21-23計画」取組み状況(事業セグメント別戦略の推進)

下水道事業：気候変動や大規模地震に対する防災・減災、強靱化の取組み

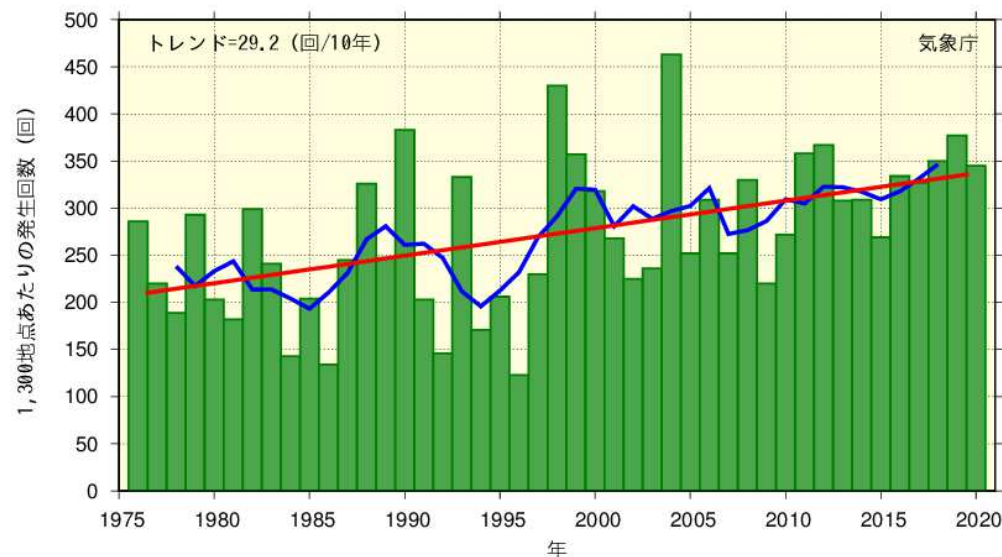
社会背景

- 流域治水への転換や下水道の耐震化、災害対策が加速

流域治水イメージ図



出典：国土交通省ウェブサイト
(https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/index.html)



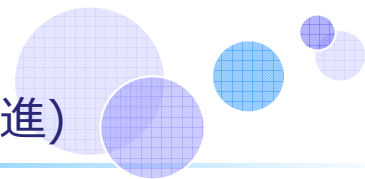
全国[アメダス]1時間降水量50mm以上の年間発生回数

出典：気象庁ウェブサイト
(https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html)

当社の取組み

製品ラインナップの拡充、マーケティング改革(技術開発体制の強化)

3. 中計「21-23計画」取組み状況(事業セグメント別戦略の推進)



下水道事業：当社ソリューションのラインナップ

防災・減災

浸水対策：導水管、貯留管



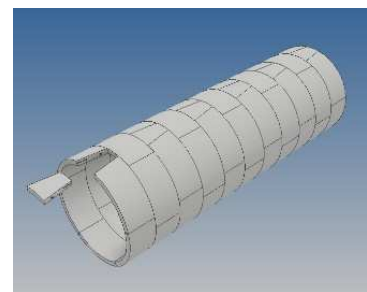
ヒューム管



組立式超大口径推進管

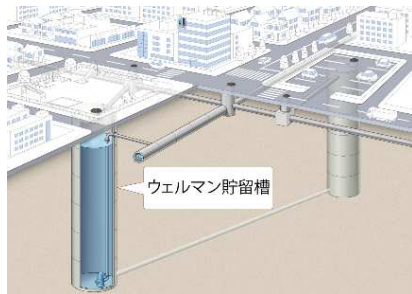


合成鋼管



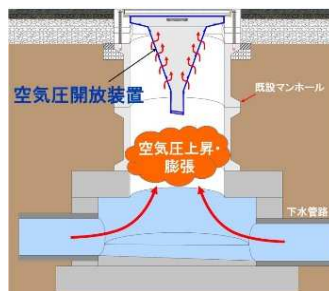
RCセグメント

浸水対策：貯留槽



ウェルマン貯留槽

豪雨対策



空気圧開放装置

耐震化



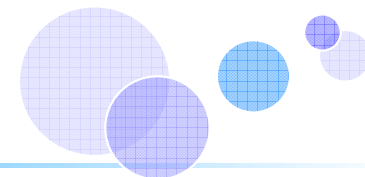
マンホール耐震化工事

強靱化（インフラ老朽化対策）



管渠更生工事

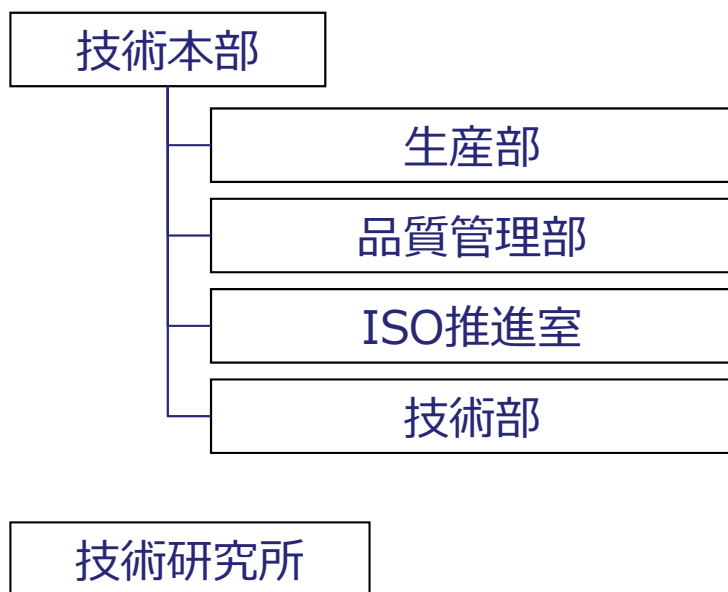
3. 中計「21-23計画」取組み状況(技術開発の強化)



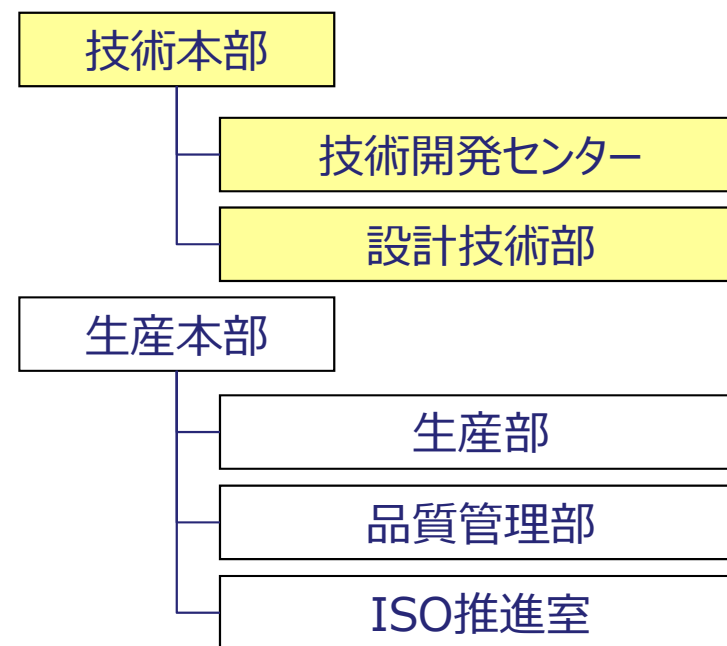
マーケティング改革

- 技術開発体制の強化、技術開発のスピードアップ
⇒機構改革の実施（技術本部の体制強化）

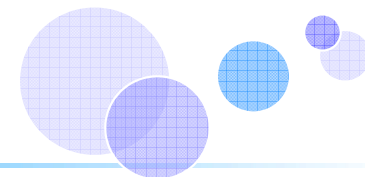
<機構改革前>



<機構改革後> (2021/6/1付)



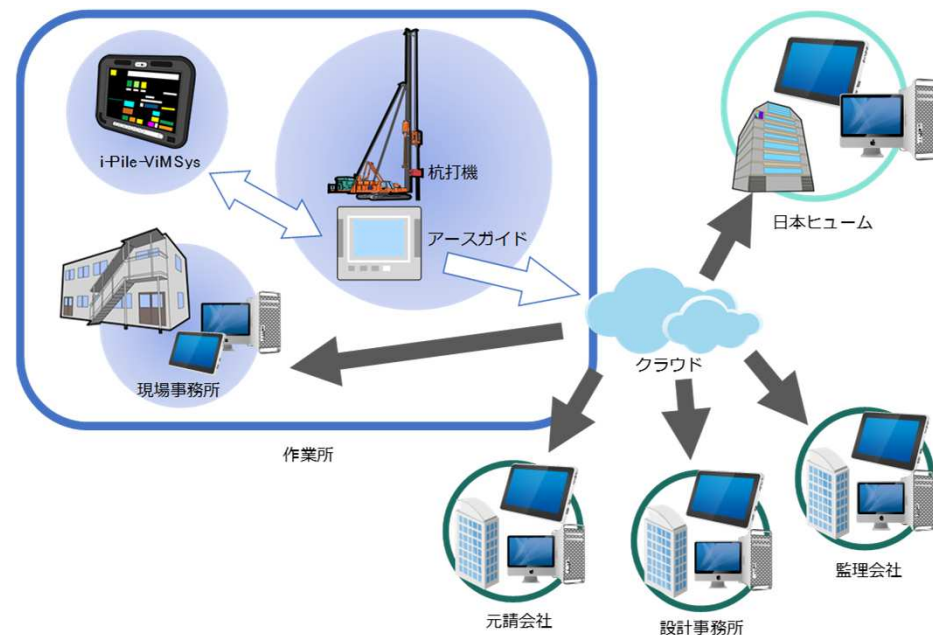
3. 中計「21-23計画」取組み状況(技術開発の強化)



基礎事業：次世代型DX施工管理システム「Pile-ViMSys（パイルヴィムシス）」の開発

- 杭施工管理データのタブレット化（業界初）
→ 杭打機に近づかないことによる安全性の向上
→ 工事作業効率化の実現
- リアルタイムでの杭施工状況の共有
→ 場所を問わない施工状況確認による
厳格な施工管理を実現

⇒ 施工品質の向上による差別化



Pile-ViMSysフェーズ1 機能イメージ図



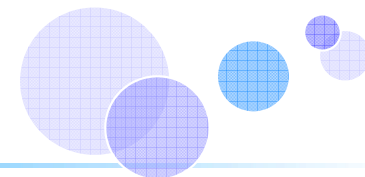
従来の作業風景



Pile-ViMSysを用いた作業風景

- 次期開発以降では、杭施工管理データ活用によるDX対応の更なる機能追加を予定

3. 中計「21-23計画」取組み状況(技術開発の強化)



脱炭素社会に向けた環境材料の開発

社会背景

- 気候変動に伴う自然災害の多発化と激甚化が世界的に進行しており、災害対策の強化とともに温暖化ガスの排出削減が急務

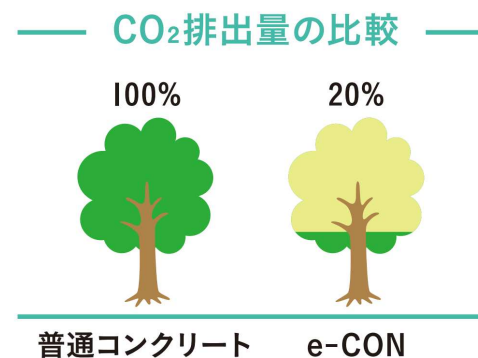
当社の取組み

産業副産物(※)を極限まで活用したセメントレスのコンクリート材料：e-CON[®]の開発

※ フライアッシュ、高炉スラグ微粉末が中心

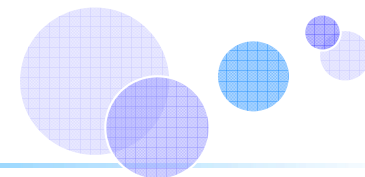
【e-CON[®]の特長】

1. CO₂排出量を普通コンクリート比で約8割低減
2. 10倍の耐硫酸性（下水管の長寿命化）
3. 耐塩害性向上（海洋構造物への適用）



e-CONを用いて製造したRCセグメント

その他トピックス

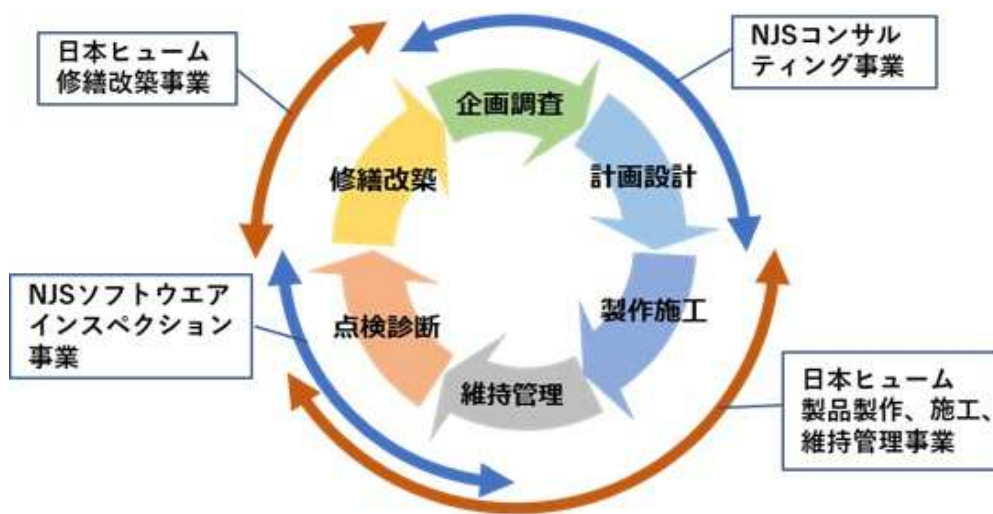


都市インフラソリューション事業に関する新会社設立（経過）

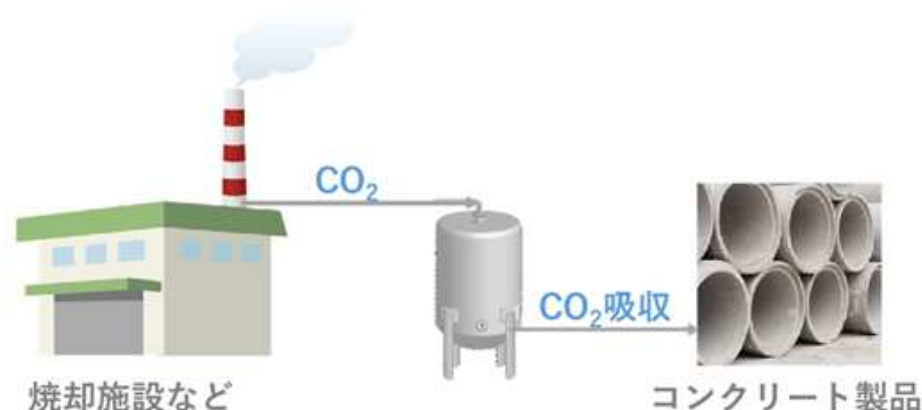
- 主な事業内容
 - ・インフラソリューション事業
 - ・再生可能エネルギー事業
 - ・脱炭素マテリアル事業



再生可能エネルギー事業



インフラソリューション事業



脱炭素マテリアル事業



NIPPON HUME
Group

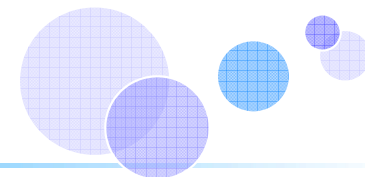
【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

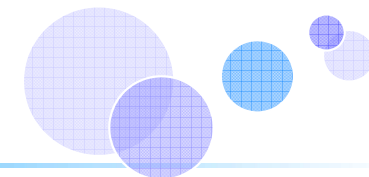
【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがあります。

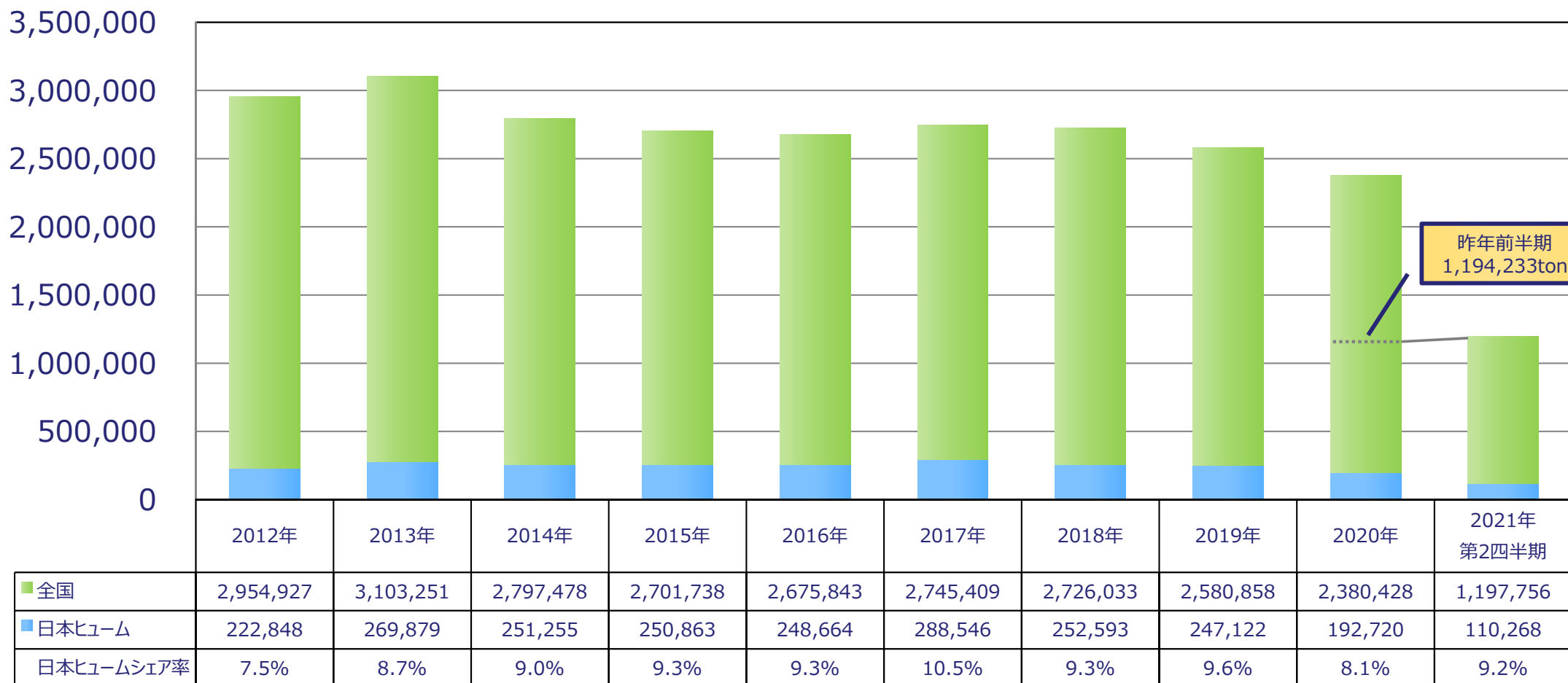


参考資料

業界データ（基礎事業）：パイル需要推移



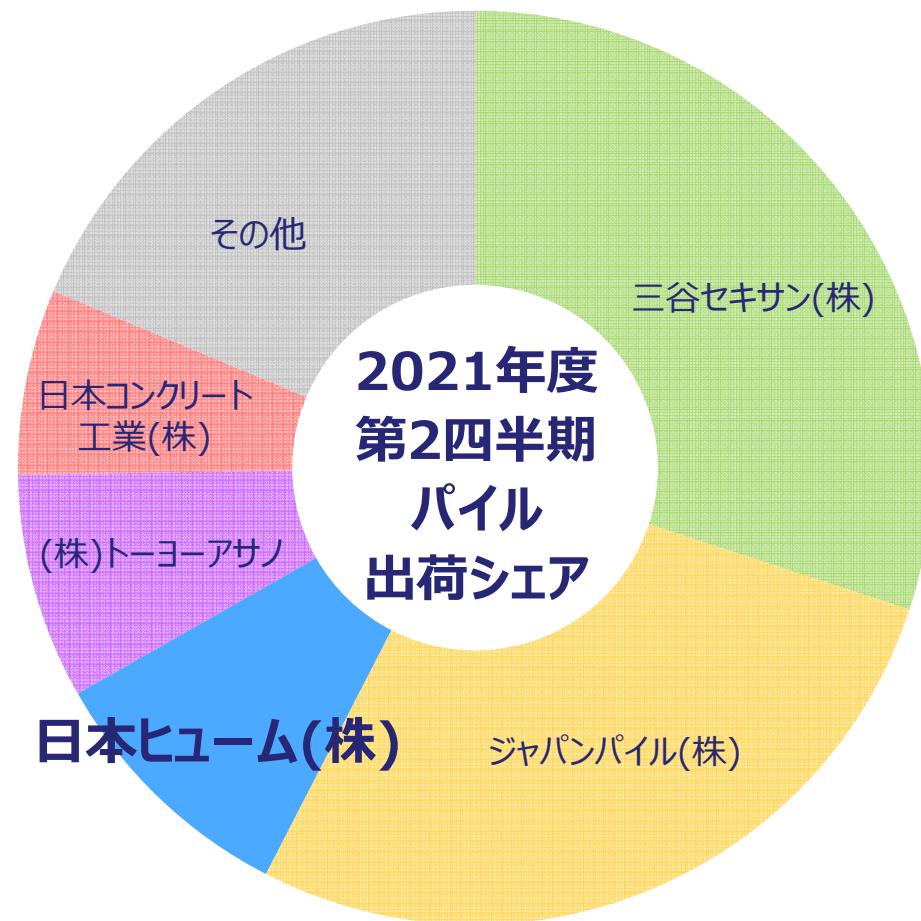
(単位：ton)



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

業界データ（基礎事業）：2021年度第2四半期パイル出荷実績

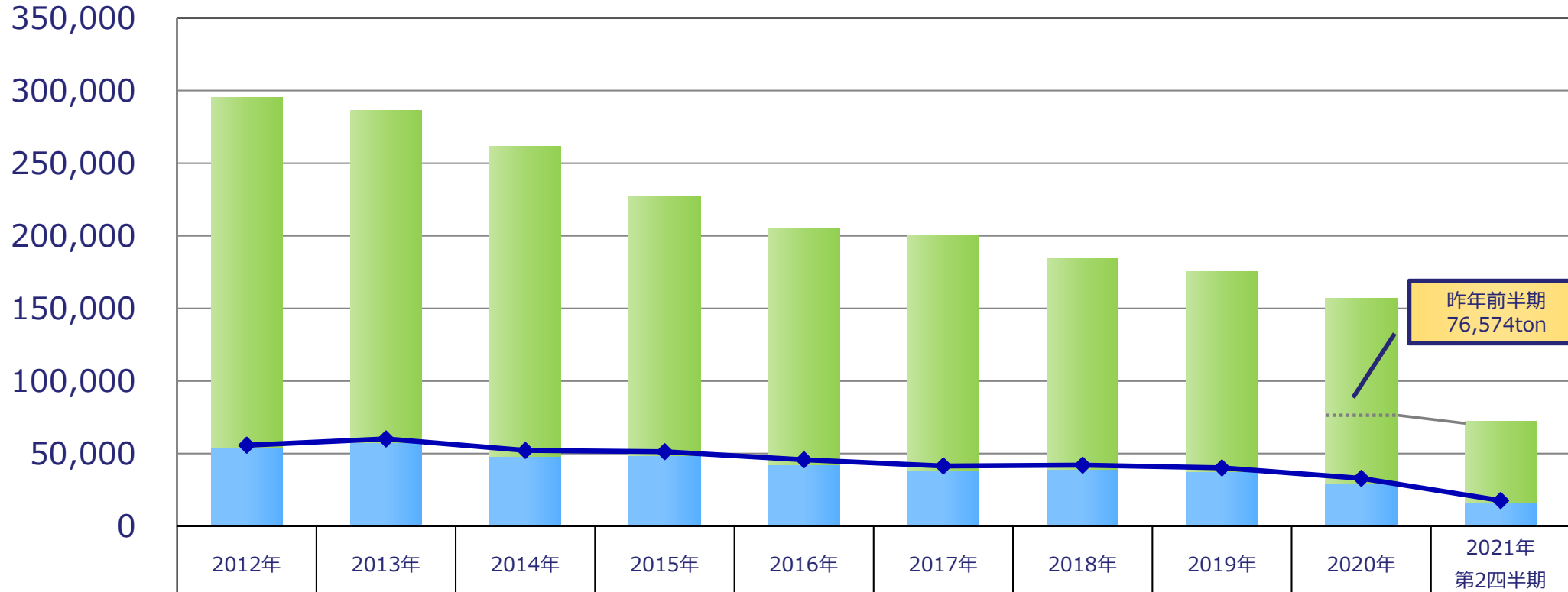
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	三谷セキサン(株)	359,536	30.0%	+3.9%
2	ジャパンパイル(株)	329,920	27.5%	+0.1%
3	日本ヒューム(株)	110,268	9.2%	+0.9%
4	(株)トーヨーアサノ	95,553	8.0%	+1.1%
5	日本コンクリート工業(株)	78,626	6.6%	-2.8%
6	前田製管(株)	32,734	2.7%	-1.6%
7	マナック(株)	32,488	2.7%	+0.1%
8	日本高圧コンクリート(株)	26,938	2.2%	-0.5%
	その他	131,693	11.0%	-1.2%
	合計	1,197,756	-	-



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移

(単位：ton)

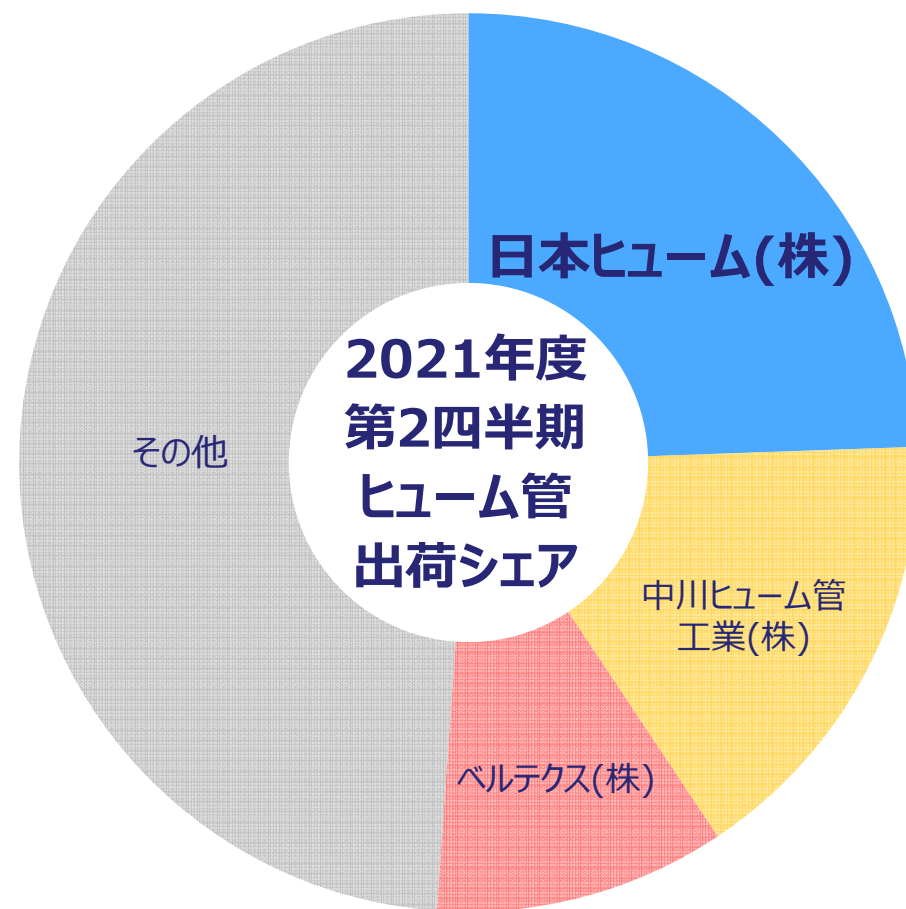


	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 第2四半期
■ 全国	295,288	286,538	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	175,235	156,840	72,156
■ 日本ヒューム	53,571	57,073	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	36,941	29,071	15,970
◆ 日本ヒュームGr	55,802	60,135	52,219	51,315	45,747	41,480	42,023	40,148	32,914	17,638
日本ヒュームGrシェア率	18.9%	21.0%	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	22.9%	21.0%	24.4%

(出典：全国ヒューム管協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：2021年度第2四半期ヒューム管出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	日本ヒューム(株)	17,638	24.4%	+5.4%
2	中川ヒューム管工業(株)	11,685	16.2%	-2.0%
3	ベルテクス(株)	7,567	10.5%	-0.0%
	その他	35,266	48.9%	-3.4%
	合計	72,156	-	-



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます
（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）